

令和9年度鳴門教育大学入学者選抜試験（令和8年度実施）における 入学者選抜方法及び大学入学共通テストの利用教科・科目等（予告）

令和6年12月
改訂 令和7年7月
改訂 令和7年12月
改訂 令和8年3月
鳴門教育大学

- ① 入学者選抜方法の概要(変更内容)について
- ② 地域教員希望枠入試について
- ③ 募集人員について
- ④ 大学入学共通テストの教科・科目の利用方法について
- ⑤ 教科・科目に係る個別テスト等について
- ⑥ 配点について
- ⑦ 教科・科目に係る個別テスト等の内容及び採点基準
- ⑧ 試験日程
- ⑨ 出願要件及び各種様式

※上記については、現時点の予告内容であり、今後変更となる場合があるため、令和9年度入学者選抜要項（令和8年7月公表予定）を必ず確認してください。

① 入学者選抜方法の概要（変更内容）について

本学は、令和9年度入学者選抜試験（令和8年度実施）から、次のとおり学校教育学部の入学者選抜方法を変更しますので、お知らせします。（詳細は別紙を確認してください。）

I 入学者選抜方法の概要（変更内容）

- 1 地域教員希望枠入試を新設
- 2 募集人員の見直し
- 3 入学者選抜方法の見直し

II 地域教員希望枠入試

「徳島スーパーキー教員（次世代徳島リーダー教員）養成プログラム」を設定し、本プログラムを履修する学生を募集するため、令和9年度入学者選抜試験（令和8年度実施）から、学部の学校推薦型選抜I型に「地域教員希望枠」を新設します。

「地域教員希望枠」には、次世代徳島リーダー教員を養成するため、募集人員5人を設定し、全国から募集します。学生は小学校教員養成を目的とする学部の「小学校教育専修学校教育実践コース」に所属し、卒業後は教職大学院の「教員養成特別コース」に進学します。

徳島県が直面する課題に高い関心を持ち、徳島県の小学校教員として、諸課題に積極的・主体的に取り組もうとする熱意ある者を選抜します。

III 募集人員

- 1 学校推薦型選抜
 - (1) I型（大学入学共通テストを課さない）・・・募集人員 15人
 - (2) II型（大学入学共通テストを課す）・・・募集人員 29人
- 2 一般選抜
 - (1) 前期日程・・・募集人員 46人
 - (2) 後期日程・・・募集人員 10人

IV 入学者選抜方法

- 1 学校推薦型選抜
 - (1) 全ての専修・コースで実施します。
 - (2) 出身学校長が推薦できる人員は、専修・コース（募集単位）ごとにそれぞれ2人以内とします。（分校は本校とは別に1校として取り扱います。定時制、通信制は、本校・分校とも、それぞれ1校として取り扱います。）
 - (3) 小学校教育専修と中学校教育専修については、教科ごと一括して募集します。
なお、入学した学生の小学校教育専修と中学校教育専修の所属分けは、学生の専修所属希望と1年次の前期の成績を基に、1年次の後期（10月）に行います。（I型の地域教員希望枠入試を除きます。）
 - (4) II型の大学入学共通テストの利用教科は、3教科（地理歴史・公民を利用する場合は4教科）とします。科目数については、利用方法により異なります。
 - (5) I型・II型とも、入試実施日を11月第4週の土曜日とし、出願状況によっては、翌日も実施します。令和9年度入学者選抜試験（令和8年度実施）の入試実施日は、令和8年11月28日（土）の予定です。

※「コース及び専修所属分け」の方法については、現在検討中のため、変更する場合があります。（令和8年7月公表予定）

- 2 一般選抜
 - (1) 小学校教育専修と中学校教育専修については、専修・コースを一括して募集します。
なお、入学した学生の専修・コース所属分けは、学生の専修・コース所属希望と1年次の前期の成績を基に、1年次の後期（10月）に行います。
 - (2) 前期日程の志望は、第2志望まで認めます。第1志望の専修以外の全ての専修を第2志望にすることができます。
 - (3) 大学入学共通テストの利用教科・科目等は、6教科8科目または7教科8科目とします。

3 教科・科目に係る個別テスト等・配点

上記の変更に伴い、それぞれの教科・科目に係る個別テスト等及び配点を新たに設定しています。

② 地域教員希望枠入試について

【地域教員希望枠入試の新設】

本学は、学部・教職大学院の正規の教育課程の中に、特に小学校教員養成に特化した「徳島スーパーキー教員（次世代徳島リーダー教員）養成プログラム」を設定し、学部・教職大学院接続インターバル型学修（学部4年＋教職大学院1年⇒採用審査を経て学校で実務経験1年⇒実務経験2年目に教職大学院継続履修・修了の教育体制）を新たに構築します。

本プログラムを履修する学生を募集するため、令和9年度入学者選抜試験（令和8年度実施）から、学部の学校推薦型選抜Ⅰ型に「地域教員希望枠」を新設します。

「地域教員希望枠」には、次世代徳島リーダー教員を養成するため、募集人員5人を設定し、全国から募集します。学生は小学校教員養成を目的とする学部の「小学校教育専修学校教育実践コース」に所属し、卒業後は教職大学院の「教員養成特別コース」に進学します。

1 募集人員【学校推薦型選抜Ⅰ型】

学部	課程	専修・コース	区分	募集人員
学校教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育専修 学校教育実践コース	地域教員希望枠	5人

2 出願要件

高等学校を令和9年3月卒業見込みの者で、次の各号にすべて該当する者として、

※令和10年度入学者選抜試験（令和9年度実施）以降は、既卒者も対象とする予定

- ① 出身高等学校長が、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として、責任をもって推薦する者
- ② 全体の学習成績の状況が3.8以上の者
- ③ 本学が主催する「徳島で輝く先生になる！鳴教プロジェクト」を修了した者
- ④ 徳島県が直面する課題に高い関心を持ち、徳島県の小学校教員として、諸課題に積極的・主体的に取り組もうとする熱意ある者
- ⑤ 学部卒業後は本学教職大学院に進学することを志望する者

3 推薦人員

出身学校長が推薦できる人員は、2人以内とします。

ただし、分校は本校とは別に1校として取り扱います。また、定時制、通信制は、本校・分校とも、それぞれ1校として取り扱います。

4 選抜方法

出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テストを免除し、推薦書、自己推薦書、自分をアピールできる客観的資料（該当するものがある場合）、調査書及び徳島県教員志望理由書（以下「推薦書等」という。）の内容、小論文、面接の成績等を総合して入学者を選抜します。

① 配点

小論文	面接	合計
200	800	1000

② 小論文

徳島県の小学校教員になるためにふさわしい資質と能力としての論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

③ 面接

志望動機、勉学意欲、コミュニケーション能力及び本学教職大学院進学への志望動機をみるにより、徳島県の小学校教員としてふさわしい資質と能力を総合的に評価します。

④ 徳島県教員志望理由書

徳島県の小学校教員を志望する理由を評価し、選抜者の判定に利用します。

- ・徳島県の小学校教員を志望する理由は、志望理由を具体的に記入するとともに、どのような教員になりたいか、自分の理想とする徳島県の小学校教員像を具体的に記入することとします。

5 判定基準

選抜者の判定は、小論文、面接の成績の合計点の高得点者から行うことを原則とします。

また、推薦書等の内容は、総合してA、Bの2段階で評価し、判定に利用します。

なお、推薦書等は、面接の参考資料とする場合があります。

③ 募集人員について

単位：人

令和9年度入学者選抜試験（令和8年度実施）									
学部	課程	専修又はコース	入学定員	募集人員					
				前期日程	後期日程	学校推薦型 選抜Ⅰ型	学校推薦型 選抜Ⅱ型		
学校教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育専修	100	3	—	—	2		
		小学校教育専修学校教育実践コース		40	10	5 【地域教員希望枠】	—		
		国語科教育コース				—	5		
		英語科教育コース				—	3		
		社会科教育コース				—	4		
		算数科教育コース 数学科教育コース				4	—		
		理科教育コース				—	4		
		音楽科教育コース				—	3		
		図画工作科教育コース 美術科教育コース				3	—		
		体育科教育コース 保健体育科教育コース				—	3		
		技術科教育コース				3	—		
		家庭科教育コース				—	3		
		特別支援教育専修				3	—	—	2
		合計				100	46	10	15

※ 学校推薦型選抜Ⅰ型は、大学入学共通テストを課さない推薦を示します。

※ 学校推薦型選抜Ⅱ型は、大学入学共通テストを課す推薦を示します。

（注1）前期日程及び後期日程の小学校教育専修と中学校教育専修については、専修・コースを一括して募集します。

（注2）学校推薦型選抜Ⅰ型及び学校推薦型選抜Ⅱ型の小学校教育専修と中学校教育専修については、教科ごとを一括して募集します。（地域教員希望枠入試を除く。）

（注3）地域教員希望枠入試は、学校推薦型選抜Ⅰ型の小学校教育専修学校教育実践コースにおいて実施します。

（注4）前期日程及び後期日程の小学校教育専修と中学校教育専修で合格し、入学した学生の専修・コース所属分けは、学生の専修・コース所属希望と1年次の前期の成績を基に、1年次の後期（10月）に行います。

（注5）学校推薦型選抜Ⅰ型及び学校推薦型選抜Ⅱ型の小学校教育専修と中学校教育専修で合格し、入学した学生の小学校教育専修と中学校教育専修の所属分けは、学生の専修所属希望と1年次の前期の成績を基に、1年次の後期（10月）に行います。（地域教員希望枠入試に合格し、小学校教育専修学校教育実践コースに入学した者を除く。）

※「コース及び専修所属分け」の方法については、現在検討中のため、変更する場合があります。（令和8年7月公表予定）

④ 大学入学共通テストの教科・科目の利用方法について

【一般選抜(前期日程・後期日程)】

		令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)	
学部・課程・学科等名 学力検査等の区分		大学入学共通テストの利用教科・科目名	
		教科	科目名等
学校教育学部 学校教育教員養成課程	【前期日程】 幼児教育専修 小学校教育専修・ 中学校教育専修 特別支援教育専修	国語	『国語』
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』
		地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『地理総合/歴史総合/公共』(※), 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』 ※『地理総合/歴史総合/公共』は, 3つの出題範囲から2つを選択してください。
	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※), 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から1又は2(注4) ※『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は, 4つの出題範囲から2つを選択してください。	
	外国語	『英語』(リスニングを含む。), 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1	
	情報	『情報Ⅰ』	
	【後期日程】 小学校教育専修・ 中学校教育専修		
			[6教科8科目]又は[7教科8科目]

(注) 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 公民においては、『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』の2科目の選択はできません。
- 『地理総合/歴史総合/公共』を選択した場合は, 選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目同士の選択はできません。
- 地理歴史, 公民及び理科において, 合計4科目受験した場合について
ア 地理歴史, 公民の第1解答科目及び理科の第1解答科目を利用します。
イ 地理歴史, 公民の第2解答科目及び理科の第2解答科目のうち高得点の科目を利用します。
- 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』において選択する出題範囲と同一名称を付した科目(『物理基礎』と『物理』, 『化学基礎』と『化学』, 『生物基礎』と『生物』, 『地学基礎』と『地学』)の選択は認めません。

【学校推薦型選抜Ⅱ型】

		令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)	
学部・課程・学科等名 学力検査等の区分		大学入学共通テストの利用教科・科目名	
		教科	科目名等
学校教育学部 学校教育教員養成課程	幼児教育専修	国語	『国語』
		地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『地理総合/歴史総合/公共』(※), 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』から2(注1)(注2) ※『地理総合/歴史総合/公共』は, 3つの出題範囲から2つを選択してください。
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※), 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から2 ※『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は, 4つの出題範囲から2つを選択してください。(注4)
		外国語	『英語』(リスニングを含む。), 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1
			[教科数又は科目数については, 利用方法により異なります。]
	国語科教育コース	国語	『国語』
		地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『地理総合/歴史総合/公共』(※), 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』から2(注1)(注2) ※『地理総合/歴史総合/公共』は, 3つの出題範囲から2つを選択してください。
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』
		理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※), 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から2 ※『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は, 4つの出題範囲から2つを選択してください。(注4)
		外国語	『英語』(リスニングを含む。), 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1
			[教科数又は科目数については, 利用方法により異なります。]

<p>英語科教育コース</p>	<p>国語 地理歴史 公民 数学 理科 情報 外国語</p>	<p>『国語』</p> <p>『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』(※)、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2(注1)(注2) ※『地理総合/歴史総合/公共』は、3つの出題範囲から2つを選択してください。</p> <p>『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』</p> <p>『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 ※『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、4つの出題範囲から2つを選択してください。(注4)</p> <p>『情報Ⅰ』(注5)</p> <p>『英語』(リスニングを含む。), 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1</p> <p>[教科数又は科目数については、利用方法により異なります。]</p>	<p>から1 (注3)</p> <p>から1 (注3)</p>
<p>社会科教育コース</p>	<p>地理歴史 公民 国語 数学 理科 外国語</p>	<p>『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』(※)、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2(注1)(注2) ※『地理総合/歴史総合/公共』は、3つの出題範囲から2つを選択してください。</p> <p>『国語』</p> <p>『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』</p> <p>『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 ※『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、4つの出題範囲から2つを選択してください。(注4)</p> <p>『英語』(リスニングを含む。), 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1</p> <p>[教科数又は科目数については、利用方法により異なります。]</p>	<p>から1 (注3)</p>
<p>理科教育コース</p>	<p>数学 理科 外国語</p>	<p>『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』</p> <p>『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 ※『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、4つの出題範囲から2つを選択してください。(注4)</p> <p>『英語』(リスニングを含む。), 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1</p> <p>[3教科5科目]</p>	
<p>音楽科教育コース</p>	<p>国語 地理歴史 公民 数学 理科 情報 外国語</p>	<p>『国語』</p> <p>『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』(※)、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2(注1)(注2) ※『地理総合/歴史総合/公共』は、3つの出題範囲から2つを選択してください。</p> <p>『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』</p> <p>『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 ※『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、4つの出題範囲から2つを選択してください。(注4)</p> <p>『情報Ⅰ』(注5)</p> <p>『英語』(リスニングを含む。), 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1</p> <p>[教科数又は科目数については、利用方法により異なります。]</p>	<p>から1 (注3)</p>

	体育科教育コース 保健体育科教育コース	国語 『国語』 地理歴史 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 公民 『地理総合/歴史総合/公共』(※)、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2(注1)(注2) ※『地理総合/歴史総合/公共』は、3つの出題範囲から2つを選択してください。 数学 『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 理科 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 ※『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、4つの出題範囲から2つを選択してください。(注4) 情報 『情報Ⅰ』(注5) 外国語 『英語』(リスニングを含む。)、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 [教科数又は科目数については、利用方法により異なります。]	から2 (注3)
	家庭科教育コース	国語 『国語』 地理歴史 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 公民 『地理総合/歴史総合/公共』(※)、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2(注1)(注2) ※『地理総合/歴史総合/公共』は、3つの出題範囲から2つを選択してください。 数学 『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 理科 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※)、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 ※『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、4つの出題範囲から2つを選択してください。(注4) 外国語 『英語』(リスニングを含む。)、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 [教科数又は科目数については、利用方法により異なります。]	から1 (注3) から1 (注3)
学校 教育 専攻 課程	特別支援教育専修	国語 『国語』 数学 『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 外国語 『英語』(リスニングを含む。)、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 [3教科4科目]	

(注) 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- (1) 公民においては、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』の2科目の選択はできません。
- (2) 『地理総合/歴史総合/公共』を選択した場合は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目同士の選択はできません。
- (3) 受験を要する教科数を超えて受験した場合は、高得点の成績を利用します。
- (4) 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』において選択する出題範囲と同一名称を付した科目(「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」)の選択は認めません。
- (5) 大学入学共通テストの『情報Ⅰ』(100点満点)は、200点満点に換算します。

⑤ 教科・科目に係る個別テスト等について

【 前 期 日 程 】

令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)			
専修名	教科・科目に係る個別テスト等		
	教科等	科目名等	2段階選抜
幼児教育専修	その他	小論文 面接	—
小学校教育専修・中学校教育専修	その他	小論文 面接	—
特別支援教育専修	その他	小論文 面接	—

【 後 期 日 程 】

令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)			
専修名	教科・科目に係る個別テスト等		
	教科等	科目名等	2段階選抜
小学校教育専修・中学校教育専修	その他	面接	—

【学校推薦型選抜Ⅰ型】

令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)			
専修・コース名	教科・科目に係る個別テスト等		
	教科等	科目名等	2段階選抜
小学校教育専修学校教育実践コース 【地域教員希望枠】	その他	小論文 面接	—
小中学校教育専修	算数科教育コース	数学	数学Ⅰ, 数学A
	数学科教育コース	その他	面接
	図画工作科教育コース	その他	実技検査 面接
	美術科教育コース	その他	面接
技術科教育コース	その他	小論文 面接	—

【学校推薦型選抜Ⅱ型】

令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)			
専修・コース名	教科・科目に係る個別テスト等		
	教科等	科目名等	2段階選抜
幼児教育専修	その他	面接	—
小中学校教育専修	国語科教育コース	その他	小論文 面接
	英語科教育コース	その他	面接
	社会科教育コース	その他	小論文 面接
	理科教育コース	その他	面接
	音楽科教育コース	その他	実技検査 面接
	体育科教育コース 保健体育科教育コース	その他	実技検査 面接
	家庭科教育コース	その他	小論文 面接
特別支援教育専修	その他	面接	—

⑥ 配点について

【 前 期 日 程 】

令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)													
区 分	大学入学共通テスト							教科・科目に係る個別テスト等					合計
	国語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	情 報	小 計	個別テスト	小論文	面接	実技検査	小計	
幼 児 教 育 専 修 小 学 校 教 育 専 修・中 学 校 教 育 専 修 特 別 支 援 教 育 専 修	200	200	200	100	200	100	1000	—	100	200	—	300	1300
	200	100	200	200	200	100	1000	—	100	200	—	300	1300

【 後 期 日 程 】

令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)													
区 分	大学入学共通テスト							教科・科目に係る個別テスト等					合計
	国語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	情 報	小 計	個別テスト	小論文	面接	実技検査	小計	
小 学 校 教 育 専 修・中 学 校 教 育 専 修	200	200	200	100	200	100	1000	—	—	200	—	200	1200
	200	100	200	200	200	100	1000	—	—	200	—	200	1200

【学校推薦型選抜 I 型】

令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)					
区 分	教科・科目に係る個別テスト等				合計
	個別テスト	小論文	面接	実技検査	
小 学 校 教 育 専 修 学 校 教 育 実 践 コ ー ス 【 地 域 教 員 希 望 枠 】	—	200	800	—	1000

区 分	教科・科目に係る個別テスト等				合計
	個別テスト	小論文	面接	実技検査	
小・中 算 数 科 教 育 コ ー ス 数 学 科 教 育 コ ー ス	400	—	200	—	600

区 分	教科・科目に係る個別テスト等				合計
	個別テスト	小論文	面接	実技検査	
小・中 図 画 工 作 科 教 育 コ ー ス 美 術 科 教 育 コ ー ス	—	—	500	500	1000

区 分	教科・科目に係る個別テスト等				合計
	個別テスト	小論文	面接	実技検査	
小・中 技 術 科 教 育 コ ー ス	—	400	600	—	1000

【学校推薦型選抜Ⅱ型】

令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)														
区分		大学入学共通テスト						教科・科目に係る個別テスト等					合計	
		国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	小計	個別テスト	小論文	面接	実技検査		小計
幼児教育専修		200	200 (注2)			200	—	600	—	—	300	—	300	900
区分		国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	小計	個別テスト	小論文	面接	実技検査	小計	合計
小・中	国語科教育コース	200	200 (注2)			200	—	600	—	200	200	—	400	1000
区分		国語	地歴・公民	数学	理科	情報(注1)	外国語	小計	個別テスト	小論文	面接	実技検査	小計	合計
小・中	英語科教育コース	200 (注2)		200 (注2)		200	600	—	—	300	—	300	900	
区分		地歴・公民	国語	数学	理科	外国語	情報	小計	個別テスト	小論文	面接	実技検査	小計	合計
小・中	社会科教育コース	200	200 (注2)			200	—	600	—	300	300	—	600	1200
区分		数学	理科	外国語	国語	地歴・公民	情報	小計	個別テスト	小論文	面接	実技検査	小計	合計
小・中	理科教育コース	200	200	200	—	—	—	600	—	—	150	—	150	750
区分		国語	地歴・公民	数学	理科	情報(注1)	外国語	小計	個別テスト	小論文	面接	実技検査	小計	合計
小・中	音楽科教育コース	200	200 (注2)			200	600	—	—	100	500	600	1200	
区分		国語	地歴・公民	数学	理科	情報(注1)	外国語	小計	個別テスト	小論文	面接	実技検査	小計	合計
小・中	体育科教育コース 保健体育科教育コース	400 (注2)			200	600	—	—	200	200	400	1000		
区分		国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	小計	個別テスト	小論文	面接	実技検査	小計	合計
小・中	家庭科教育コース	200 (注2)	200 (注2)			200	—	600	—	200	200	—	400	1000
区分		国語	数学	外国語	地歴・公民	理科	情報	小計	個別テスト	小論文	面接	実技検査	小計	合計
特別支援教育専修		200	200	200	—	—	—	600	—	—	300	—	300	900

(注) 【大学入学共通テスト】欄

- (1) 大学入学共通テストの『情報Ⅰ』(100点満点)は、200点満点に換算します。
 (2) 受験を要する教科数を超えて受験した場合は、高得点の成績を利用します。

⑦ 教科・科目に係る個別テスト等の内容及び採点基準

【 前 期 日 程 】

専修名	令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)	
	検査科目等	検査内容及び採点基準
幼児教育専修 小学校教育専修・ 中学校教育専修 特別支援教育専修	小 論 文 (共 通)	教員になるためにふさわしい資質と能力としての論理的思考力・判断力・表現力を評価します。
幼児教育専修	面 接	乳幼児理解, 乳幼児教育への意欲と熱意, 論理的思考力, 判断力, 表現力を中心に総合的に評価します。
小学校教育専修・ 中学校教育専修	面 接	志望動機, 勉学意欲, コミュニケーション能力をみることにより, 教員としてふさわしい資質と能力を総合的に評価します。
特別支援教育専修	面 接	特別支援教育で中心的な役割を果たす教員になるためにふさわしい資質と能力及び特別支援教育に対する意欲をみて, 総合的に評価します。

【 後 期 日 程 】

専修名	令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)	
	検査科目等	検査内容及び採点基準
小学校教育専修・ 中学校教育専修	面 接	志望動機, 勉学意欲, コミュニケーション能力をみることにより, 教員としてふさわしい資質と能力を総合的に評価します。

【学校推薦型選抜Ⅰ型】

専修・コース名	令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)	
	検査科目等	検査内容及び採点基準
小学校教育専修 学校教育実践コース 【地域教員希望枠】	小 論 文	徳島県的小学校教員になるためにふさわしい資質と能力としての論理的思考力・判断力・表現力を評価します。
	面 接	志望動機, 勉学意欲, コミュニケーション能力及び本学教職大学院進学の志望動機をみることにより, 徳島県的小学校教員としてふさわしい資質と能力を総合的に評価します。
小学校教育専修	数 学 (数学Ⅰ, 数学A)	数学(数学Ⅰ, 数学A)に関する記述試験によって, 算数・数学科教員になるための基礎的な知識・技能及び問題解決における思考力・判断力・表現力を評価します。
	面 接	教育に対する関心・意欲をみるとともに, 算数・数学科教員になるためにふさわしい資質と能力を総合的に評価します。
	実 技 検 査	鉛筆デッサンによって, 美術の基礎的な表現力を評価します。
技術科教育コース	面 接	・教員になるためにふさわしい資質と能力を評価します。 ・持参した作品に基づき, 美術に対する意欲, 感性, 思考力, 表現力などを評価します。 (注)面接時に高等学校在学中に制作した美術や工芸等の作品で, 携行可能な主要作品3点を持参してください。 なお, 本人の作品であることについて, 出身学校長の証明書(様式任意)を添付してください。
	小 論 文	ものづくりや情報についての知識や理解と, 高等学校などで学んだ数理や科学的な内容に対する学力の定着度をみることで, 技術・工業・情報の教員としてふさわしい資質と能力を評価します。
	面 接	・教員になるためにふさわしい資質と能力を評価します。 ・技術科教育を志すものとしての資質と意欲を評価します。 また, これまでに行ってきたものづくりや情報に関する取組みについても尋ねます。

【学校推薦型選抜Ⅱ型】

専修・コース名		令和9年度入学者選抜試験(令和8年度実施)	
		検査科目等	検査内容及び採点基準
幼児教育専修		面 接	乳幼児理解、乳幼児教育への意欲と熱意、論理的思考力、判断力、表現力を中心に総合的に評価します。
小 中 学 校 教 育 専 修	国語科教育コース	小 論 文	国語科教員になるためにふさわしい資質と能力としての知識・論理的思考力・判断力・表現力を評価します。
		面 接	国語の基礎学力に関する試問を含む面接を通じて、応答の態度をみるとともに、教育に対する関心、意欲を総合的に評価します。
	英語科教育コース	面 接	小学校・中学校において英語を指導するための資質と能力を、基本的かつ平易な英語を用いた面接で評価します。
	社会科教育コース	小 論 文	社会科教員になるためにふさわしい資質と能力としての論理的思考力・判断力・表現力を評価します。
		面 接	社会に対する関心と教育に対する意欲を問うとともに、社会科教員になるためにふさわしい資質と能力を総合的に評価します。
	理科教育コース	面 接	理科の基礎学力に関する試問を通じて、教育に対する関心・意欲をみるとともに、理科教員になるためにふさわしい資質と能力を総合的に評価します。
	音楽科教育コース	実 技 検 査	以下の課題により、音楽的能力及び表現力を評価します。 1 演奏実技 下記の(1), (2), (3), (4)の中から1つを選択し、演奏してください。 (1) 声楽 (2) ピアノ (3) 管楽器 (4) 弦楽器 ※演奏実技の受験曲目については、本学所定の受験曲目調査票に必要事項を記入の上、出願時に提出してください。また、 <u>ピアノ以外の楽器は受験者が持参してください。</u> 2 楽典(和声学、楽式論は含みません。) 3 旋律聴音 4 コールユーブンゲン 【各課題の詳細は令和9年度入学者選抜要項(令和8年7月公表予定)で確認してください。】
		面 接	教育に関する関心・意欲をみるとともに、これまでに経験してきた音楽活動について尋ね、教員になるためにふさわしい資質と能力を総合的に評価します。
	体育科教育コース 保健体育科教育コース	実 技 検 査	運動能力ならびに陸上競技、器械運動、球技などの基本的な運動技能を評価します。
		面 接	小学校教員(体育科)及び中学校の保健体育科教員になるために必要な資質と能力をみるため、学校教育と保健体育科教育にかかわる基礎的内容を質問するとともに、これまでに行ってきた体育・スポーツ活動の実績について尋ねます。
家庭科教育コース	小 論 文	家庭生活及び社会生活に関する理解・関心の深さや諸課題に対する論理的思考力、文章表現力を通して家庭科教員としてふさわしい資質と能力を評価します。	
	面 接	家庭生活及び社会生活に関する家庭科の基礎学力の試問を通して家庭科教員になるためにふさわしい資質・能力をみるとともに、教育に関する関心・意欲をみて総合的に評価します。	
特別支援教育専修		面 接	特別支援教育で中心的な役割を果たす教員になるためにふさわしい資質と能力及び特別支援教育に対する意欲をみて、総合的に評価します。

⑧ 試験日程

【学校推薦型選抜Ⅰ型・Ⅱ型】

試験日	時間	専修・コース	幼児教育専修	小学校教育専修					中学校教育専修					特別支援教育専修	
				小学校教育実践コース	国語科教育コース	英語科教育コース	社会科教育コース	算数・数学科教育コース	理科教育コース	音楽科教育コース	美術・図工科教育コース	保健体育科教育コース	技術科教育コース		家庭科教育コース
11月28日(土)	9:00～10:00	面接(終了予定)	面接	小論文	面接	面接	面接	面接	面接	面接	面接	面接	面接	面接	面接
	10:30～18:00			面接											

(注1) 面接等試験の実施場所・時間割表については、試験当日に入学試験用掲示板に掲示します。
 (注2) 出願状況によっては、上記試験日の翌日にも試験を行う場合があります。

【前期日程】

試験日	時間	専修・コース	幼児教育専修	小学校教育専修	中学校教育専修	特別支援教育専修
2月25日(木)	9:00～10:30	面接(終了予定)	小論文(共通)	小論文(共通)	小論文(共通)	小論文(共通)
	12:00～18:30					

(注1) 面接等試験の実施場所・時間割表については、試験当日に入学試験用掲示板に掲示します。
 (注2) 12:00 から第1志望の面接を行い、その後、第2志望の面接を行います。
 (注3) 出願状況によっては、上記試験日の翌日にも試験を行う場合があります。

【後期日程】

試験日	時間	専修・コース	小学校教育専修	中学校教育専修
3月12日(金)	9:00～12:00(終了予定)	面接	面接	面接

(注1) 面接等試験の実施場所・時間割表については、試験当日に入学試験用掲示板に掲示します。
 (注2) 出願状況によっては、午後にも試験を行う場合があります。

⑨ 出願要件及び各種様式

【前期日程】【後期日程】の出願要件

次のいずれかに該当し、かつ、令和9年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験した者としてします。

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ただし、学校教育法施行規則第150条第7号による出願を希望する者は、個別の入学資格審査を受ける必要があります。

【学校推薦型選抜Ⅰ型(地域教員希望枠入試)】の出願要件

「② 地域教員希望枠入試について」を参照してください。

【学校推薦型選抜Ⅰ型(地域教員希望枠入試を除く。)】の出願要件

高等学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者で、次の各号にすべて該当する者としてします。

- (1) 出身高等学校長が、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として、責任をもって推薦する者
- (2) 全体の学習成績の状況が3.8以上の者
- (3) 次に掲げる各コースの要件に該当する者（小学校教育専修算数科教育コース，中学校教育専修数学科教育コースを除く。）

小学校教育専修図画工作科教育コース，中学校教育専修美術科教育コース

次のいずれかに該当する者

- ① 美術の領域における全国レベル又は都道府県レベルのコンクールにおいて、優秀な成績をおさめた者
- ② 平素の美術活動又は課外活動において、上記と同等以上の表現技術や感性に優れていると判断される者

小学校教育専修技術科教育コース，中学校教育専修技術科教育コース

次のいずれかに該当する者

- ① ものづくりや情報の領域における全国レベル又は都道府県レベルの競技会や資格取得において、優秀な成績をおさめた者
- ② 平素のものづくりや情報に関する活動又は課外活動において、上記と同等以上の技術力を有すると判断される者

【学校推薦型選抜Ⅱ型】の出願要件

高等学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者で、次の各号にすべて該当する者としてします。

- (1) 出身高等学校長が、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として、責任をもって推薦する者
- (2) 令和9年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験する者

【学校推薦型選抜Ⅰ型・Ⅱ型】の各種様式

受験番号	※
------	---

推 薦 書

令和 年 月 日

鳴門教育大学長 殿

学 校 名 _____

学校長氏名 _____ 印

記入責任者名 _____ 印

本人との関係 _____

下記の者を、貴学学校推薦型選抜志願者として、責任をもって推薦いたします。

記

学校推薦型選抜 志願者氏名		卒業(見込)年月	令和 年 月	推薦する 専修・コース	(略称で記入してください。)
推 性	適	教員としての 意欲・ 資質・能力 ・適性等			
	性	専修・コー スにかかわ る資質・能 力・適性等			
薦 理 由	在 学 中 の 活 動 等	活 動 状 況			
		人 物 ・ 性 格			
		そ の 他 (特記事項等)			
		学 力 の 3 要 素 に 関 する 評 価			

(注) 裏面の「推薦書記入上の注意」に留意してください。

推 薦 書 記 入 上 の 注 意

- 1 記入は、黒インク又は黒ボールペンを使用してください。
なお、本学所定様式に準じ、パソコン等により印字されても結構です。
- 2 出身学校長が推薦できる人員は、**専修・コース（募集単位）ごとにそれぞれ2人**です。
ただし、分校は本校とは別に1校として取り扱います。また、定時制、通信制は、本校・分校とも、それぞれ1校として取り扱います。
- 3 「推薦する専修・コース」については、下表の略称で記入してください。

専 修 ・ コ ー ス		略 称
幼 児 教 育 専 修		幼 児
小 学 校 教 育 専 修 学 校 教 育 実 践 コ ー ス		学 校 教 育
小 学 校 教 育 専 修	国 語 科 教 育 コ ー ス	国 語
	英 語 科 教 育 コ ー ス	英 語
	社 会 科 教 育 コ ー ス	社 会
	算 数 科 教 育 コ ー ス 数 学 科 教 育 コ ー ス	算 数 ・ 数 学
	理 科 教 育 コ ー ス	理 科
中 学 校 教 育 専 修	音 楽 科 教 育 コ ー ス	音 楽
	図 画 工 作 科 教 育 コ ー ス 美 術 科 教 育 コ ー ス	図 工 ・ 美 術
	体 育 科 教 育 コ ー ス 保 健 体 育 科 教 育 コ ー ス	体 育 ・ 保 体
	技 術 科 教 育 コ ー ス	技 術
	家 庭 科 教 育 コ ー ス	家 庭
特 別 支 援 教 育 専 修		特 別 支 援

- 4 「推薦理由」については、下記の要領で記入してください。
 - (1) 適 性
 - ① 「教員としての意欲・資質・能力・適性等」欄は、本人の教員としての意欲等について具体的な所見を記入してください。
 - ② 「専修・コースにかかわる資質・能力・適性等」欄は、推薦する専修・コースとの関連において、得意とする分野（種類）、展覧会等の参加歴、出品歴、得意とする種目及び記録、成績、大会等の出場歴、競技会の成績、資格取得などの具体的なもの、若しくは具体的なものは無いが特に秀でた資質等があると判断できる理由を記入してください。
 - (2) 高等学校在学中の活動等
 - ① 「活動状況」欄は、校内・校外の活動の具体的な事項やその活動における自主性、計画性、創造性、持続性、協調性、責任感について、具体的に記入してください。
 - ② 「人物・性格」欄は、単に「まじめである」「よく活動する」というような概評でなく、推薦の根拠となる事項を具体的に記入してください。
 - ③ 「その他（特記事項等）」欄は、本人の趣味、特技等参考になるものがあれば、記入してください。
 - (3) 学力の3要素に関する評価

「学力の3要素に関する評価」欄は、本人の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価について、具体的に記入してください。また、本人の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記入してください。
- 5 記入にあたり、所定の欄が不足するときは、別紙に記入し、添付してください。
- 6 **推薦書は厳封して、他の出願書類と一括して提出してください。**

小学校教育専修音楽科教育コース，中学校教育専修音楽科教育コースを志望する者のみ作成してください。

氏 名	受験番号 ※
-----	--------

受 験 曲 目 調 査 票 〔学校推薦型選抜Ⅱ型用〕

1 声楽，2 ピアノ，3 管楽器，4 弦楽器の中から1つを選択し，記入してください。

(1) 声楽

- ◎ 課題曲の中から1曲を選択してください。
- ◎ 演奏する調性を記入してください。

なお，出願手続の際に，伴奏譜を提出してください。

作 曲 者	曲 名	演 奏 す る 調 性

(2) ピアノ

作 曲 者	曲 名

(3) 管楽器

楽 器 名	曲 名

(4) 弦楽器

楽 器 名	曲 名

注 ピアノ以外の楽器は受験者が持参してください。

小学校教育専修体育科教育コース，中学校教育専修保健体育科教育コースを志望する者のみ作成してください。

受験番号	※
------	---

運 動 競 技 歴 書 〔学校推薦型選抜Ⅱ型用〕

氏名			男・女	特技とする運動種目	()
特技とする運動種目の主な成績・記録	競技会・発表会	年 度		主催者（開催地）	競技・発表の成績・記録
	1			()	
	2			()	
	3			()	
	4			()	
	5			()	
	6			()	
	補足説明				

学 校 名 _____ 学校

学 校 長 氏 名 _____ 印

記 載 責 任 者 名 _____ 印

本 人 と の 関 係 _____

（記入要領）

- 1 「特技とする運動種目」の欄には，ポジションや段位等を具体的に記入してください。
例1 陸上競技（走り幅跳び） 例2 硬式野球（ピッチャー） 例3 柔道（2段）
- 2 「特技とする運動種目の主な成績・記録」の欄には，高等学校在学中の代表的なものを6つまで記入してください。
- 3 「競技会・発表会」，「主催者（開催地）」は省略形を用いずに正確に記入してください。
- 4 「補足説明」の欄には，レギュラー・補欠の区別やクラブ内での役割等，活動状況について具体的に記入してください。

